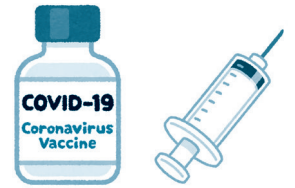


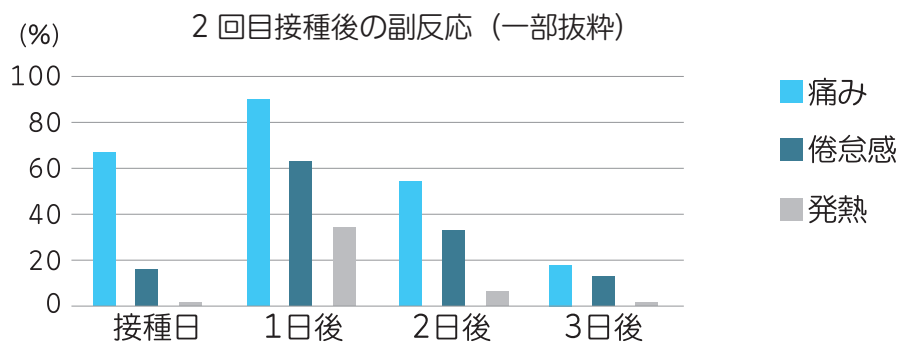
# 新型コロナウイルスワクチン接種について

## 医療従事者の先行接種から見てきた副反応の状況

先行的に接種を受けた医療従事者を対象に、接種後一定期間(約1ヵ月)を調査した結果、下記のような副反応が報告されています。このことについて十分に理解したうえで、接種をしてください。



- ・8割以上の人に接種した部位の腫れや赤み、痛みが発症した
- ・発熱、頭痛、倦怠感等の全身症状がみられ、1回目接種よりも、2回目接種で頻度が高い傾向がある
- ・接種した部位の痛みや全身症状等は、接種当日より接種翌日に強く出る傾向がある
- ・痛み等の症状は3日後には回復している



※詳しい情報は厚生労働省ホームページ、首相官邸ホームページで公開しています

厚生労働省  
ホームページ ▶

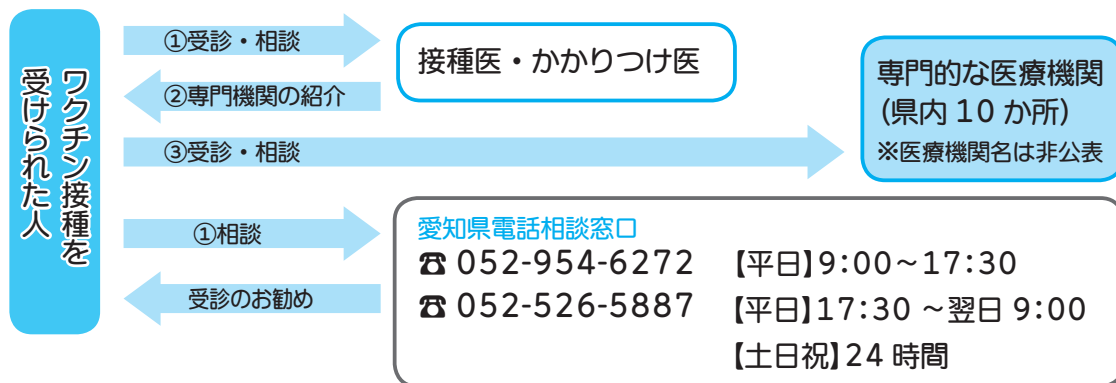


首相官邸  
ホームページ ▶



## 接種後の副反応に対応する医療体制について

愛知県では、ワクチン接種後副反応を疑う症状が出た場合、専門的な医療機関を円滑に受診できる体制を構築しています。



- ①副反応を疑う症状が出た人は、接種医・かかりつけ医等身近な医療機関を受診するか、愛知県の電話相談窓口にご相談ください(県の電話相談窓口では、看護師等が状況をお伺いし、必要に応じてかかりつけ医等の受診を案内します)
- ②専門的な対応が必要と判断された場合、診療した医師が専門的な医療機関を紹介します
- ③紹介先の専門的な医療機関を受診してください